

事業番号④ 網膜色素変性症等の患者等の自立促進用具の開発及び普及支援事業

徐々に視野が狭くなり、光を感じる機能が衰えるため、夜盲(やもう)やその反対にまぶしさを苦痛に感じる羞明(しゅうめい)が激しくなり、徐々に視力が衰えていくのがこの病気です。患者が少しでも自立して生活できるように、白杖(はくじょう)の使い方や、パソコンの使い方、遮光眼鏡、拡大読書器、音声時計など、生活を便利にするための補装具の情報を紹介する事業です。具体的には次のような取り組みをしています。

- 「アイフェスタ」の開催・支援／● アンケートの実施